

公立学校施設の耐震化状況一覧
(非木造施設:2階建て以上または面積200m²以上) (令和7年4月1日現在)

○幼稚園

No. 3

学校名	棟用途	棟番号	建築年度	構造※1	階数	面積(m ²)	耐震基準※2	耐震診断※3結果				改修の必要性	改修年度
								年度	IS値※4	CT×SD値※5	q値※6		
利南幼稚園	園舎	4	S50	R造	1	606	旧基準	*H18	1.07	—	—	不要	—
薄根幼稚園	園舎	10	S56	R造	1	727	旧基準	*H18	1.11	—	—	不要	—

「耐震診断結果」欄中の「*年度」のIS値は耐震1次診断によるもので、IS値が0.9以上のため耐震補強不要

※1 RC: 鉄筋コンクリート造 S: 鉄骨造

※2 新耐震基準(新基準)は、建築基準法(昭和56年6月1日施行令改正)に基づく耐震基準である。昭和56年6月1日以降に建築確認

※3 耐震診断は、地震に対する安全性を構造力学上診断するものである。

※4 Is値(構造耐震指標)とは、耐震診断による建物の耐震性能を表わす指標であり、Is値0.6以上で耐震性能を満たすとされているが、文部科学省は、学校施設については、おおむね0.7以上に補強するよう求めている。Is値0.3未満は大規模な地震(一般的に震度6強程度)により倒壊の危険性が高い建物とされている。

※5 CT×SD値は、水平力に対して建物または部材が保有している強度指標の累積値(CT)と建物平面・立面形状等による指標(SD)の積で表わし、0.3以上が目標値。

※6 q値とは、保有水平耐力に係る指標で、1.0以上であれば倒壊や崩壊の危険性が低く、1.0未満では危険性があるとされている。保有水平耐力とは、建物が地震による水平方向の力に対して対応する強さをいい、各階の柱、耐力壁及び筋かいが負担する水平せん断力の和として求められる値をいう。